

シンポジウム 材料試験炉 JMTR の新たな挑戦 —「軽水炉利用の明日を担う研究基盤」—

1. 開催日時 平成 19 年 3 月 8 日(木) 10:00～16:30 (受付開始 9:40)
2. 開催場所 東京都千代田区内幸町2-1-8 新生銀行本店ビル1階 新生ホール (入場無料)
3. 主 催 独立行政法人日本原子力研究開発機構(JAEA)
4. 後援(予定) 原子力委員会、原子力安全委員会、文部科学省、経済産業省、茨城県、大洗町、
社団法人 日本原子力産業協会、有限責任中間法人 日本原子力技術協会
5. プログラム(敬称略)
 - I. 開会挨拶:10:00～10:10 JAEA 副理事長 早瀬 佑一
 - II. 個別講演【第1部】:10:10～11:45

座長: 東京電力株式会社 顧問 宅間 正夫

 - (1) JMTR の改修と利用計画 JAEA 経営企画部 材料試験炉計画準備室長 河村 弘
 - (2) 軽水炉利用に係る研究基盤としての材料試験炉の今日的意義
 - ・ 材料試験炉と原子力機構に期待する役割
文部科学省 研究開発局 原子力研究開発課長 中村 雅人
 - ・ 原子力安全を支える研究施設基盤の強化
経済産業省 原子力安全・保安院 原子力安全技術基盤課 統括安全審査官 山田 知穂
 - ・ 原子力立国計画のための研究開発
経済産業省 資源エネルギー庁 原子力政策課 企画官 野田 耕一
 - III. 個別講演【第2部】:12:45～15:20

座長: JAEA 原子力基礎工学研究部門長 小山田 修

 - (1) 照射施設に係る国際動向
 - ・ 世界の材料試験用原子炉の現状と JMTR に対する期待
OECD/NEA 原子力安全部 副部長 Dr. C. Vitanza
 - ・ 米国における照射試験ニーズと国際協力の展望
INL/BEA 燃料・材料性能向上部 研究開発員 Dr. G. R. Longhurst
 - (2) 我が国における軽水炉燃料材料の研究開発
 - ・ 概要: 東京大学大学院 工学系研究科 システム量子工学専攻 教授 関村 直人
 - ・ 材料: 東京電力株式会社 技術開発研究所材料横断技術グループ主席研究員 浅野 恭一
 - ・ 燃料: 関西電力株式会社 原子力事業本部 燃料技術グループ マネジャー 仙藤 敏和
 - ・ 水化学: 日本原子力発電株式会社 発電管理室 調査役(化学)部長 瀧口 英樹
 - IV. 総合討論: 15:30～16:30

座長: 東京大学大学院 工学系研究科 システム量子工学専攻教授 大橋 弘忠

テーマ:「新JMTRが軽水炉利用の明日を担う研究基盤として果たすべき役割と課題」

パネリスト:(五十音順)

株式会社 グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン 燃料技術グループ チーフエンジニア 伊東 賢一

有限責任中間法人 日本原子力技術協会 規格基準部 プラント運用グループリーダー(部長) 笠井 滋

東京大学大学院 工学系研究科 システム量子工学専攻 教授 関村 直人

電気事業連合会 原子力部長 田中 治邦

東北大学 金属材料研究所 教授 長谷川雅幸

社団法人 日本電機工業会 原子力技術委員長 前川 治
 - V. 閉会挨拶: 16:30～16:35 JAEA 理事 野村 正之